「コメディカルの友」135号（2025年6月号）の内容

1 「日本医事新報」（2024年12月～2025年2月）から

（1） 識者の眼

① 「診察の際、患者が医師からかけてほしい言葉」

② 「ジェンダード・イノベーションに感じる可能性」

③ 「生活保護受給者を貶めるな」

④ 「感染症との戦いは続く」

(2) プラタナス

① 「忘るべからず脚気心」

② 「趣味の歴史と外来と」

（3） 病院トラブル 事務方の解決法 season2

① 第9回 「謝罪とお詫びに違いはあるのか」

（4）その他

① エッセイ 「定年後の医者仕事」

2 「朝日新聞」（2025年3月）から

① ThinkGender 「患者の9割女性、増える骨粗鬆症」

3 「こまど」（2024年12月～2025年3月）から

① 特集 「ある日突然起こり、人生が変わってしまう『心原性脳塞栓症』」

② Dr.中原の健康こぼれ話 「風邪は万病のもと」

<< 編集後記にかえて ： 通信 「所長のつぶやき」> 第2回 >> ※次ページに掲載

<< 編集後記にかえて ： 通信「所長のつぶやき」 >>

第3回 2025年3月18日のこと

(1) 岡山の「黄色」、それは…

岡山には黄色の車体のタクシーがたくさん走っています。これは、両備グループに所属する三つのタクシー会社のものです。両備グループは、黄色の車体にちなみ、岡山の黄色い魅力たちと、黄色いタクシーがコラボしたタクシーシリーズ「イエロー スペシャリティ」を展開しています。今回発表されたものを含め、これまでに五つの企画があります。

第1弾 「黄ニラタクシー」： 黄ニラは、日光を遮断して栽培した柔らかいニラです。

第2弾 「岡山カレータクシー」：「岡山カレー」というのを食べたことがないのですが。

第3弾 「サンタロウタクシー（池田動物園のキリン）」： 池田動物園を経営しているのは、現在の上皇のお姉様です。

第4弾 「酒米・雄町タクシー」： 稲穂の黄色です。広島（西条）と兵庫（灘）に挟まれて全国的には知られていないかもしれませんが、岡山の日本酒は大変おいしいです。

そして、第5弾が「点字ブロックタクシー」です。黄色い車体の下部に、黄色い点字ブロックのイラストを描いています。点字ブロックのイラストは車体よりも濃い黄色で、突起模様にくっきりとした光と影を付けて目立つようにしています。車体の中央には「点字ブロックは岡山生まれです」という標語を大きく書いています。屋根の前方には、盲導犬のオブジェが載っています。盲導犬の胸の前には点字ブロック模様の大きなハートがあり、デザインのアクセントになっています。また、車内の座席にも点字ブロックを使用する人々の様子がイラストで描かれており、助手席と後部座席の足元には本物の点字ブロックが敷かれています。

(2) 岡山から世界へ 「点字ブロック」

点字ブロックが世界で初めて敷設され、使用されたのは1967年3月18日です。そして、現在、3月18日は、「点字ブロックの日」として記念日になっています。

この点字ブロックの日に、点字ブロックタクシーの出発式が行われました。『コメディカルの友』の編集長である末木智恵さんと盲導犬のエルモくんが、セレモニーに参加し、試乗しました。末木さんの感想は、「足元が広くて盲導犬と一緒に乗るのに快適」とのことです。

観光地や商業施設などで黄色でない点字ブロックもよく見かけます。ロービジョンの方には、黄色の点字ブロックが見えやすくて大変助かるといいます。点字ブロックの上で立ち話をしたり、点字ブロックの上にものを置いたりする方もいるのですが、「点字ブロックタクシー」が、全国に「点字ブロックは黄色」というメッセージを広めてくれたらと思います。そして、黄色の点字ブロックに対する理解が一層深まることを願います。岡山においでの際には両備タクシーセンターに連絡し、ぜひ「点字ブロックタクシー」に乗ってみてはいかがでしょうか。

筆者 ： 志水克典（岡山ライトハウス点字出版所 所長、元岡山県立岡山盲学校教頭）